

リビューカメラの取り付けかた

取り付ける前に

- 内容物をご確認ください。
- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭きとり、湿気を乾かしてください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

あらかじめ仮接続・仮止めて、取り付ける位置を決めてください。
貼りなおすと粘着力が低下します。

- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。

■しっかりと取り付けるために

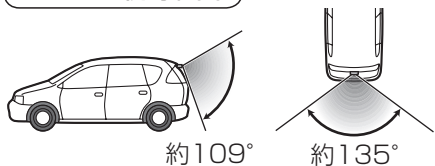
- 気温が低いとき(20℃以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因になります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

お知らせ

- フッ素樹脂処理された(水滴や泥水などをはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。
- 別売のオプションキャップ(CA-RCC52AD/RD/WD/SD)を付けないでください。
国土交通省の定める保安基準※に抵触する場合があります。

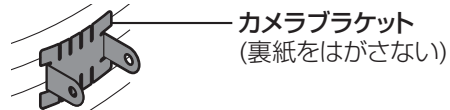
※道路運送車両の保安基準 第18条
「車枠及び車体」細目告示 第1節
別添20「外装の技術基準」

カメラの視野範囲

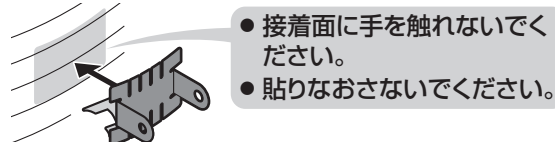


① カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取り付ける。

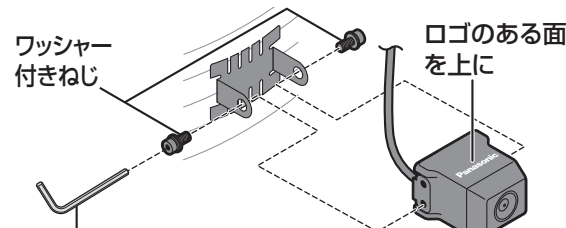
① 取り付ける面に合うように整形する。



② 裏紙をはがしてしっかり密着させる。

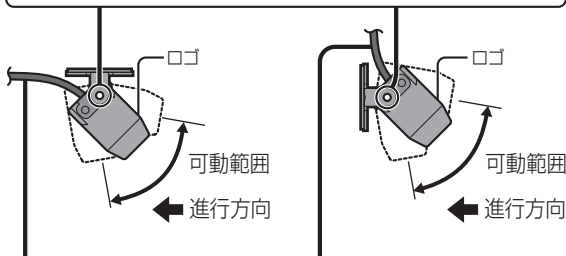


② カメラ本体を、カメラブラケットに取り付ける。



取り付ける位置により、使用するねじ穴およびコードを引き出す方向が異なります。

角度を調整しやすい側のねじ穴に取り付けてください。



③ バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るようにカメラの角度を調整する。



故障かな!?

症 状

カメラ映像が映らない

- 各コードの接続をご確認ください。
- 接続している機器の設定を確認してください。
- 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。
→ お買い上げの販売店にご相談ください。

映像が不鮮明

- カメラに泥やほこりがついている。
→ レンズの汚れを拭いてください。

画面に白線(光の縦線)が出る

- 太陽光を直接映したり、強い光(バンパーからの反射やヘッドライトなど)が入射している。
→ 光源の上下に明るい縦線が現れることがあります。
(故障ではありません)

画面がちらつく

- 蛍光灯などで照らされた場所を映している。
→ 画面がちらつくことがあります。
(故障ではありません)

画面が見えにくい

- 暗いところを映している。
- 部分的に明るい光を映している。
- カメラが高温になっている。
→ 画面が見えにくくなることがあります。
(故障ではありません)

- 太字の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機のお手入れ

- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。(ケースや塗装が変質するおそれがあります)
- 磨き粉などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。